

有限会社湯ノ浜 取組と改善の方向性

有限会社湯ノ浜

企業名	有限会社湯ノ浜
所在地	函館市湯川町1-2-30
従業員数	65人（2025年5月16日現在）
業務内容	温泉観光ホテル

1. 現状の課題



中間管理職が育ちにくい状況があります。

会社の育成の問題もありますが、「そもそも中間管理職という役割が成立しにくい業務設計や人材構造」にも原因があるのではないかと感じています。

2. 問題点と講師の見解

1

「そもそも中間管理職という役割が成立しにくい業務設計や人材構造」にも原因があるのではないかと感じています。



「成立しにくい」というより、中間管理職に求めていることが明確でなければ「育ちにくい」です。

2

宿泊業や他業界の事例から見て、中間管理職が機能しない組織には共通構造があるのでしょうか。



業界関係なく以下のような傾向が見られます。

- ・ 中間管理職の期待役割が明確ではない(伝わっていない)
 - ・ 対象者が中間管理職の存在を認識しておらずイメージがつかない(リーダーになるのが嫌とかではなくそもそも自分がなれると考えていない)
 - ・ 機能しないという意味だと「称号・肩書を与えている、中間管理職として任命しているのに期待している役割を果たしてくれない」という課題の場合も何をすれば良いか？がわからないというのが最も大きい要素です。
- 次に本人はやっているつもりだが経営層の期待とのギャップが発生しているがそのギャップに気づいていない、埋め方がわからないという状態に陥っていることが多いです。

3

今後人手不足が進む中で、「中間管理職を育てる」という前提自体を見直す必要はありそうでしょうか。



次世代に向けて人材を育成できる人、組織をまとめることや牽引できる人である中間管理職は経営者以外に必ず必要なので、ぜひ、諦めずにトライし続けて頂きたい。

4

役割自体を分解・再設計するアプローチは有効なのか、また、実際にそうした事例はあるのでしょうか？



あります。例えば、

- ・ 労務管理など管理する役割
- ・ 新規事業やサービスを作るリーダーとしての役割
- ・ 人材育成をする役割 etc

といったように管理職その人の特性や指向性によってわけた事例があります。